

(様式3)

令和6年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	山田奉行所記念館	所在地	伊勢市御園町上條1602
指定管理者名	山田奉行所記念館友の会	指定期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで
設置目的	山田奉行所に関する資料を収集、保存、展示して、地域文化の振興に寄与する		
業務内容	山田奉行所に関する資料を収集、保存、展示して、地域文化の振興に寄与する 入館者に対する説明、指導及び助言に関する事 地域住民の福祉、文化等の向上に関する事 記念館の利用の許可に関する事 記念館の維持、管理に関する事 以上のほか、記念館の管理に関する事務のうち、市長のみの権限に属する事務を除く業務		
施設概要	敷地面積:2,580㎡、建築面積:356㎡ 施設内容:木造平屋建(母屋、長屋門)鉄骨平屋建(弓道施設) 事務室、展示室、弓道施設		
職員体制	会長1名、運営委員長1名、運営委員3名、監事2名、協力委員7名		
施設所管課名	文化政策課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)
		令和4年度	令和5年度	令和6年度	比較(C-B)
事業収支	収入	指定管理料	3,275,000	3,275,000	0
		利用料金	50,700	83,980	△ 11,310
		減収補填金	7,990	0	0
		その他	309	82,889	75,680
		計(a)	3,333,999	3,366,189	64,370
	支出	人件費	2,152,460	2,115,240	37,600
		管理運営費	1,010,009	1,541,298	128,134
		その他	0	0	0
		計(b)	3,162,469	3,656,538	165,734
	収支差引額(a)-(b)		171,530	△ 290,349	△ 391,713

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載

印刷費の増加は、パンフの2～3年分の印刷による。

3 評価(様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
入館者数が、5年度3,824から、6年度5,058と増加した。花壇、庭園の整備に努めており、市天然記念物「臥竜梅」の保存にも協力した。みそのまちづくり協議会との協力体制も進んでおり、「船下ろし式」では、大いに支援を得た。	・施設の管理運営と維持管理は、適正に行われていた。 ・花壇の整備やプランターの設置など、施設周辺の実観に努めている。 ・船下ろし式の開催などにより、来館者数は大幅に増加した。御園町にある唯一の文化施設であるため、引き続き、来館者増に繋がる取り組みに努めてほしい。 ・今後も様々な取り組みを継続し、市民の文化芸術活動のさらなる活性化に寄与いただきたい。また、効果的、効率的な管理運営に努め、各団体や行政との連携を密に図りながら、より質の高いサービスを提供できるよう期待したい。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

		施設名		山田奉行所記念館		
評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目		判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針を理解していたか。	A	理解のもとに運営している	A	運営業務の基本方針等を十分に理解している。
	②施設設置目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的は達成されたか。	A	地域の文化センターとしての意識のもとに運営している	A	設置目的や管理に関する基本的な考え方をもとに、館の管理運営が行われている。
	③利用者数	利用者数は当初の目標を達成したか。	A	達成した	A	各種イベント等を開催し、来館者は目標の4,000人を大幅に超え5,000人以上であった。引き続き、利用者増につながる取り組みに努めてほしい。
	④運営状況	施設の供用日数・供用時間は守られたか。また、適正な施設の運営が行われたか。	A	守れた	A	供用日数・供用時間ともに、事業計画どおり適正な運営が行われていた。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	メンバーの特性を活用するよう努めている	A	当番表をつくり、順調に業務を行っていた。
	⑥意思疎通	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	B	連絡は十分に行っているつもりである	A	月1回以上の情報交換が行われ、十分な連絡調整がなされた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	B	各種記録は保管している	A	各種帳簿等については、適正に整備・保管されている。
	⑧地域の振興	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	A	まちづくり協議会との共同事業を行なっている	A	今後の事業に向けて地元自治会との協力体制をはかった。引き続き、地域住民との交流に努めて欲しい。
	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	A	申し出につとめて努力している	A	使用許可等の申請の取り扱いは、適正に行われていた。
	⑩利用料金等の徴取状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	規定通りにやっている	A	帳簿等が作成され、適正に行われた。
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	問題ないと思われる	A	個人情報に係る書類は、適正に管理されている。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	B	そのつもりである	A	法令違反は見受けられなかった。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

		施設名		山田奉行所記念館			
評価項目			評価				
			指定管理者		市		
業務運営項目		評価の基準		判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	利用者数の増加や利便性を高めるための具体的な取り組みが行なわれていたか。		A	利用者の希望にそうよう努めている	A	特別展や船下ろし式などを開催し、入館者増加の取り組みに努めた。
	②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行なったか。		A	不均衡のないよう努めている	A	来館者に対し丁寧な展示説明を行うなど、応対サービスについては利用者からの評価も高い。
	③適切な情報提供	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行なったか。		B	広報を中心に行っている	A	企画展開催時には、「広報いせ」やマスコミ等を活用し、情報提供を行っている。
	④非常時・緊急時の対応	緊急時のマニュアルが整備され、従業員訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。		B	マニュアルはないが常識的に行っている	B	緊急時の対応について、施設内での認識の共有はできている。マニュアルの整備等も進めていただきたい。
	⑤苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。		A	苦情は聞いていない	A	意見・苦情等の適切な処理体制が整っており、管理運営に関する大きな苦情は無かった。
	⑥自主事業	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。		A	利用者の申し出に従っている	A	企画展や子どもを対象とした夏休み文化歴史イベント等を開催している。引き続き、地域住民が交流できるような利用者増につながる取り組みに努めてほしい。
	⑦事業の評価	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。		A	努力している	A	特別展等の開催中に来場者から聞き取り等をし、事業評価を行っている。今後も来館者や施設利用者の意見等を事業運営の参考としてほしい。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	建物・設備・植栽等が適切に管理され、安全性の確保、良好な機能及び美観の保持がされていたか。		A	努力するとともに、何かあったら市へ連絡している	A	敷地内の美観保持、定期的な点検・確認が行われている。
	②備品等の管理	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。		A	行なっている	A	保管資料は、適切に管理されている。また、設備等についても適正に管理されている。
	③修繕業務	点検のよって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。		A	小修繕は自主的に行うとともに、市へ連絡している	A	修繕が必要な案件については、適切に報告がなされた。また、軽微な修繕については、従事者により修繕するなど経費節減に努めている。
	④清掃業務	清掃は適切に行なわれていたか。		A	清掃に努めている	A	日頃から適切に清掃、美観保持に努めている。
	⑤防犯体制	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。		A	きちんとしているつもりである	A	鍵の管理は適正に行われており、防犯に関するトラブルは発生しなかった。